

不景気だ、不景気だといいますが、この介護、整骨といった業界は、どんどん新規事業ができています。

これも時代といえ、時代のせいかもしれませんが、僕はこの新規オープンに不安をもっています。

この介護、整骨といったもの、基本的に家族経営が多く、多くは借入金で立ち上げた所が多い。

かくいう私も、銀行から多くの借入れを行い始めたうちの一人。

毎月の固定費が大きいですから、中々、多店舗展開がしにくく、一事業のみの中小零細企業が多いのが実情です（特に、整骨、デイサービスで見られます）

介護職員の給与の低さの原因に毎月の固定費が重くのしかかり、社員に還元できないというのもあるのでしょう。

冒頭で僕が不安した点。

それは、これから競争が激しくなり廃業する事業所が増えるのではないかと。

確かに、これから2025年まで高齢者は増える。ですが、実際の介護認定を受けている方と高齢者の数に乖離はある。地域差もある。そして報酬という大事な価格は国が握っていること。

ましてや今の状況であれば今後、「制度あってサービスなし」。今後介護の労働力不足はますます深刻化するはず。

事業所間の競争に加え、労働力の低下により、業界が廃れていく可能性は非常に高い。

昨日まで、利用できていた自分とこのお婆ちゃんが、明日からどこも行くところがなくなった、なんて状況がおきるかもしれません。

「アベノミクス」なる大胆な景気対策、経済対策が行われてようとしています...

特に、医療、介護、保育などの直接人が人をお世話するような仕事は、疎かにできないと思います。